

発言通告書の要旨(一般質問)

平成28年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (金)	1	16 横山 強	1、子育て支援について	(1) 出産祝い金制度及び実施を復活とするべきではないのかを伺う。 (2) 当初、市は少子化に歯止めとするための施策をなぜ道半ばで廃止したのかを伺う。 (3) 将来、三豊市の人口減少の歯止めの一環として、子育て支援の役割を担うことが人口増への施策ではなかったのかを伺う。 (4) 三豊市は、平成18年～24年まで出産祝い金実施とした成果はなかったのか。廃止することにより、少子化の歯止めができ、出生率が向上したのか。 (5) 出産祝い金廃止後とした、平成24年～28年度までとする子育て支援の成果を伺う。 (6) さらなる少子化を歯止めとする施策として、子育て支援に向けて、第一子から出産祝い金の復活をしてはどうかを伺う。
			2、危機管理情報周知について	(1) 火災発生時の周知放送を現行からなぜ改めないのかを伺う。 (2) 火災周知放送の改善を求める複数の議員より、一般質問において、改善を検討するとの答弁から、今日まで放置した理由を伺う。 (3) 三観広域は現況の周知方法は消火に対し、改善すべきと三豊市に改善を促したが三豊市は火災周知は、個人情報にかかわると拒否した理由等を伺う。 (4) 火災周知放送において、目標地点を火災発生場所から20m以内とする周知目標等、改善するべきではないのか、市政を伺う。 (5) 火災周知改善について、三観広域から火災発生時に、新たな目標施設の詳細を提示しているが、市は改善する意思があるのかを伺う。
			3、政治活動用看板認可について	(1) 選挙管理委員会は、政治活動用事務所の立て札及び看板の設置における書類等のチェック機能と届け出設置場所の現地確認のチェック機能をどのように果たしているかを伺う。 (2) 政治活動とする立て札(看板)の違法設置等、期限切れのシールのまま放置したものに対する対応を伺う。 (3) チェック機能が働いていない選挙管理委員会の体質改善を選挙管理委員長に伺う。
	2	18 為広員史	1、イノシシの問題について	イノシシが農作物を食い荒らして農家が相当のダメージを受けている問題。次に家屋の中や庭への侵入・車との衝突等、市民では対処できない現状について
			2、学校給食について	学校給食における地産・地消の割合及び食材について
			3、通学路の整備について	国道・県道・市道について通学路の整備をどのように考えているのか。特に県道で歩道整備の計画をしながら一向に進まない現状について
			4、小学校の跡地利用の今後について	各企業と10年の賃借契約を結んでいるがその後について建物の耐用年数や、あと20年の補助金返還期限について

発言通告書の要旨(一般質問)

平成28年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (金)	3	5 丸戸研二	1、公共施設マネジメントについて	(1) 公共施設の総合マネジメントの必要性 公共施設総量の把握と現行の管理経費の状況 インフラも含めた総合的、統括的計画(対策)が必要でないか。 (2) マネジメントの方向性 総量と経費の現実的な削減策 スクラップ化と新しい行政需要をどう解決するか。 (3) 均衡ある管理 同類の施設間にある差異の認識と解消策 (4) 目標数値 現実的な目標と時間軸が必要でないか。 (5) 市民へのビジョン提示 受益者負担の原則と市民感情 10年間程度の具体的・現実的な計画が必要でないか。
			2、有害鳥獣対策について	(1) 有害鳥獣の捕獲と被害状況 (2) 捕獲鳥獣の処理状況 (3) 課題 (4) 捕獲鳥獣処理施設の必要姓 (5) 手続の簡素化とワンストップ化
	4	8 西山彰人	1、水族館の誘致について、市費は出さないと聞くが本当か	市費を出さないことを、どのような形で市民に知らせるのか伺う。
			2、南部学校給食センターについて	委託した給食センターについて、契約などが守られているかの調査を9月議会での一般質問でお願いしたが、その結果について伺う。
			3、広報紙のあり方について	民間事業者の宣伝と思われる記事が載ることはないと思うが、どのような規定と対策があるのか伺う。
			4、施設の民間委託について	多くの施設で民間委託の計画が進んでいるが市民の意見反映について伺う。
	5	4 浜口恭行	1、若い世代や若い女性などの支援策について	市民対話集会で話のあった、子育て支援・ママさん支援の充実策として、若い世代や特に若い女性たちが生き生きと活動できるまちを目指し、今後どのような施策を展開していく予定があるのか、具体的な当局の考えを聞く。
			2、三豊市うらしまマラソン大会の総括について	市民有志による実行委員会が企画し、三豊市市制施行10周年記念事業として開催した「第一回三豊市うらしまマラソン大会」だが、全国から900名以上が集まり、本市の知名度向上や地域活性化イベントとして、大成功したように思う。今後は本市の一大イベントとして市当局が率先して関与し、次年度以降も開催するよう取り組んでいくべきであるとも考えるが、当局の考えを聞きたい。
			3、防災・減災マネジメントについて	「人命を守る」ためには、すべての防災対策を人命の観点から総点検し、減災目標を設定して、これが最大になる対策を選択して集中的に投資する「防災・減災マネジメント」が求められる。 地域住民の防災力向上のため、今後は防災・減災マネジメントを実施する必要があるとは思うが、当局の考えを聞きたい。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成28年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (金)	6	7 込山文吉	1、地方創生応援税制について	<p>今年度から地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)がスタートしている。地域再生法に基づき「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」と認定された事業に寄附した企業が税額控除を受けられる制度で、6県81市町村の102事業が認定されている。さらに、11月25日に55事業が追加認定された。</p> <p>1、三豊市の取り組み状況を聞く。</p> <p>①しごと創生事業分野での取り組み状況。 ②地方への人の流れ事業分野での取り組み状況。 ③働き方改革事業分野での取り組み状況。 ④まちづくり事業分野での取り組み状況。</p> <p>2、地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業)の取り組み。</p>
			2、教育機会確保法案について	<p>誰でも教育を受ける権利が保障される環境整備を目的に「教育機会確保法案」が衆議院で可決された。法案の背景には、12万6,009人に上る小・中学校不登校の問題があり、過去最多の21万612件のいじめがある。</p> <p>1、三豊市内におけるフリースクールなどの学び場の状況を聞く。 2、三豊市小中学校の不登校、いじめの実態把握について聞く。 3、いじめは経済格差など社会のひずみともいわれる。子供の貧困対策について聞く。</p>
			3、市民税・固定資産税滞納について	市民税・固定資産税の滞納処分状況を聞く。
12/12 (月)	7	12 近藤久志	1、地方創生に対する財政活用について	・まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げられている、基本目標ごとの具体的な施策・事業を行うにあたって、28年度の地方創生推進交付金等含む拠点整備交付金の活用において、地域再生計画の概要と次年度からの財政活用があるのか。
			2、三豊市の学校給食について	<p>・南部学校給食センター開設により調理業務委託、市が事業者を求める業務運営等の要求水準が、提案に沿って行われているか。</p> <p>・市が作成する献立、調理指示が活かされた調理成果と評価はどのようにまとめているか。</p> <p>・地産地消として地元食材の活用実績についてと課題について。</p> <p>・北部給食センターは、南部の検証期間を設けて対応(建築)すべきでないか。</p>
			3、高瀬駅を含む拠点整備について	・人の流れと活気を生み出す地域空間の形成、官民連携による三豊市の拠点再生エリア施策として事業整備実施により、高瀬駅を含む拠点整備が必要でないか。
	8	15 大平敏弘	1、住民サービスの広域基準づくりから魅力的な香川三豊づくり	<p>合併10年が過ぎ、自力の自治を国から求められている、地方交付金を多くいただいている三豊市を含む香川県内の自治体。その中でも国、四国の人口減少問題から西讃の、観音寺市、仲多度郡、善通寺市などの自治体間での人口動向のせめぎ合いというより、奪い合いの様相になってはいないか。</p> <p>特に子供子育て支援での競争提案激化が見られはしないか。</p> <p>そこで提案だが、住民サービスの西讃なり香川県基準をつくり、あまり隣と比べることなく、安心して西讃なり香川県に住んでいただく運動の発言の核になる三豊市を目指すべきだと考えるが。</p>
		2、学童保育	民営保育と、公立保育併用の現状と課題 学童保育のニーズの動向と今後の展望	

発言通告書の要旨(一般質問)

平成28年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/12 (月)	9	2 石井勢三	1、三豊市の特産品の販売促進について	三豊市の特産品には、市場化されずに眠る有望な素材が、さらには、磨きをかければ注目される資源がたくさんある。このような物産品の販売促進をするための市の考えを問う。 ①物産品のブランディングによるマーケティング ②行政あるいは、民間による販路拡大のための商社化 ③高瀬パーキングエリアの有効活用
			2、三豊市内の小中学校のホームページについて	学校におけるホームページは、家族と学校の情報及び連絡網としては、最も有効で便利な手段と考えられる。今現在、三豊市内の小中学校のホームページの現状は、各学校での運営はバラバラで、更新あるいは、連絡網としての機能は、不十分で活用されていないと考えられる。今後の市の考えを問う。
	10	11 金子辰男	1、若者定住促進補助事業について	若者の住宅取得補助、施策実施されてからの成果、実績を聞く。今後の方針を聞く。
			2、地域商社事業とその支援策について	地域経済を活性化するためには、地域一体となって価値を上げていくことが必要である。販路開拓、商品開発など地元をプロデュースする地域商社。つい先日、説明会が市役所であったが、その後の反応、興味を持っている人材を発掘できるきっかけになってきているか、今後の方針、方向性を問う。
			3、山本町の幼稚園、保育所の今後について	住民の声、意見を聞くための方法はどのようなものか。
			4、骨髄バンクドナー支援について	市としての骨髄バンク登録に対する周知の取り組み。ドナーへの助成制度を聞く。
			5、薬物乱用防止対策について	三豊市の薬物乱用の現状と、どのような防止対策をとっているのかを聞く。
	11	10 詫間政司	1、女性が輝くための子育て支援事業の一環とした、就業相談事業の実施について	本来、この国が進めている子育て支援施策の目的は、女性が社会参加し生き生きと輝くことを支援することが、この国の活力につながるよう導いていくためだ。結婚、出産に際し、離職した人も相当数いる。子育て中であっても時短勤務を望む人は多い。子育て支援事業の一環として、専門家に就業相談事業を委託して実施することはできないか。
			2、待機児童対策としての保育施設利用者支援について	認可施設であろうが認可外施設であろうが、違いは制度上の問題であって保育所利用者にとっては、日々の保育が満足するものであればそれ以上のことはないと思う。三豊市の保育所事業は、認可と認可外が同じ土俵で保育ニーズに対応しているのが現状で、認可で対応できないニーズを認可外が受け入れているという現実がある。言葉を変えれば、認可外なくしては三豊市の保育所事業は成立していないとも言える。次の4点について質問する。 ①第3子の保育料は、認可の場合第1子が就学しても無料となるが、認可外の場合は第1子が就学すれば第2子の扱いとなるため、無料とならないことの不平等の改善 ②第2子以降保育料補助金を、公立保育所同様にすることによる負担の軽減 ③認可外保育施設運営補助金の増額による安定した保育環境の確保 ④認可外保育施設が、一定基準を満たしたものを「三豊市認証保育所」として、市の子育て・保育所事業に一体として取り組んでいることを示すことによる、利用者の安心感の確保

発言通告書の要旨(一般質問)

平成28年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/12 (月)	12	6 水本真奈美	1、防災減災について	①災害発生時の避難所運営について ⑦本市は避難所の管理運営マニュアルが完成した。内閣府のガイドラインでは初動期の避難所運営の流れ、とりわけ地元住民から代表者を選び、運営組織を作ることとなっているが、女性の参画も含め、どう推進していくのか。 ⑧避難所マニュアルに基づく避難所管理・運営の訓練をどのように実施していくのか。 ⑨ボランティア、他の自治体からの派遣職員の調整や被災者ニーズを把握する「避難所支援班」はどのように組織し、活動をするのか。 ⑩在日外国人への対応、障害者のための福祉避難室の設置について ⑪ペット同行避難について地域住民への周知、訓練、ペットの居場所が実際、確保されるのか、ペット用品の備蓄について ⑫通電火災防止の耐震ブレーカー設置の普及について ⑬夜間避難に役立つ太陽光発電式の防犯灯と地震解除キーボックスの設備を防災計画に導入してはどうか考えを伺う。
			2、子ども読書活動推進計画について	①家庭、学校、図書館における読書活動の推進状況と効果、課題について ②ブックスタート事業の配布率と効果について ③セカンドブック事業実施についてのお考えを伺う。
12/13 (火)	13	21 瀧本文子	1、瀬戸内国際芸術祭2016について	3回目を迎えた芸術祭を無事終えたが、全体的総括について
			2、「図書館再編基本構想」について	1、「図書館再編基本計画」を含めた今後のスケジュールについて 2、公立図書館の公共サービス(図書館法第3条 図書館奉仕)について、どのように認識しているか。特徴的な取り組みがあれば、紹介ください。 3、公立図書館は憲法で掲げる、基本的人権のうち「知る権利」を保障する(日本図書館協会「図書館の自由に関する宣言」)ための、大切な公共サービスであるとも言われている。これら公共図書館が果たす役割について、基本構想の中で、どのような記述をされる考えか、伺う。
			3、放課後児童クラブについて	1、土曜保育の統合について 2、学校との情報共有について
			4、性同一性障害の方の保険証等の性別表記について	保険証等の裏面に性別記載が可能となっている。当事者への通知となるよう広報を検討することについて。たとえばHPに掲載と保険証郵送時にパンフレットを同封することについて。
	14	17 鴨田 借	1、市内小、中学校及び公共施設の洋式便器率について	今後、行政の改修計画について伺う。
15	19 香川 努	1、市立病院今後のあり方について	1、27年度に国が出した新公立病院改革ガイドラインでは経営の効率化・再編、ネットワーク化・経営形態見直しが指摘されているが、三豊市の対応は。 2、永康病院の建てかえを考えているようだが、香川県地域医療構想や新改革プランの策定内容、また専門家の意見を踏まえながら、将来を見据えて十分な議論が必要ではないか。	
		2、庁舎周辺整備について	1、高瀬駅舎、特にトイレと駐輪場が老朽化している。何度も指摘しているが改修の計画は。 2、来年度、旧公民館が取り壊されることになると思うが、食生活改善などが使っていた一階調理場の移転をどのように考えているか。危機管理センターも完成し中央避難所近くに、災害時にも対応できる調理場が必要ではないか。 3、庁舎横にある四国学院の用地売買の話が過去にあったが現状は。	
		3、合併10周年にあわせて、報酬審議会の開催と新たな市のスローガンを策定しては	1、合併10周年の本年度、報酬審議会を開催しては。 2、子供たちにもわかりやすく、印象に残る三豊市独自のスローガンを策定しては。	
		4、コウノトリの生育環境整備について	3年連続天然記念物のコウノトリが飛来し、コウノトリを守る会や地元有志が、生育環境を守ることで地域活性化になると頑張っている。市としても生育環境整備に協力しては。	

発言通告書の要旨(一般質問)

平成28年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/13 (火)	16	3 岩田秀樹	1、地球温暖化対策の新たな国際枠組み「パリ協定」が進められようとしているが市の対応は	三豊市における温室効果ガス排出対策をはじめ見直しの準備が必要では。
			2、通学路の安全確保対策について	時間による車両進入規制実施を行ってはどうか。
			3、就学援助において入学準備金の入学前支給や支給時期の改善実施を	新入学準備金の入学前3月支給の実施、必要な時期にあわせ、立てかえしなくて済むように支給改善を実施すべきでは。
			4、三豊市の新規建設施設の維持管理について	市内新施設の建設は基本競争入札だが、維持管理である美装・浄化槽などは随意契約か。
			5、入札参加資格について	議員の親族に対する公共事業等の受注制限についての現状は。コミュニティバスは、入札参加資格者を市内業者と限定することで、経済効果がどれだけ上がったと想定されるか。
	17	9 三木秀樹	1、なぜ、「公共事業」として水族館をつくるのか	①詫間港の讃岐造船跡地に水族館をつくる計画が、その周辺含めた「詫間港周辺地区にぎわい創出事業」として、当初の定期借地設定方式の「民間事業」から、「公共事業」の方式(PFIのBTO方式)に変えてでも建設しようとしているが、変更するポイントは民間企業の資金調達問題だと思うが、そこまでしてつくる必要性があるのか。 ②年間収容人数20万人、それを20年間維持の水族館計画であるが、少子化、人口減少、混迷する経済の動向等の状況から「この公共事業」に市民は納得すると思うか。
			2、公民館等の使用料を全面的に「見直して徴収する」指針に関して	①119ある公共施設の維持・管理費に市は3億6,000万円支出している。「受益者負担の原則」を実施し、利用者から使用料を徴収しその自主財源を確保しようとしている。3年かけて全庁的に実施する計画であるが、法にもある「公益負担」と「受益者負担」の関係から、その徴収する基準及び総額ほどの程度か。 ②今年度改正した公民館等の使用料の「減額」「免除」は受益者負担の原則の例外規定であると見直す方向だが、住民説明のあり方、及び現条例をまた変えるのか。
			3、給付型の奨学金を新設しては	①9月議会で「国策の問題」と答弁があったが、卒業して返済ローンに苦しむ若者を三豊市の継続・発展のための「人材・資源」として支援する給付型奨学金を創設してはどうか。 その財源として「ふるさと納税」「がんばる企業応援事業等」を活用し、求人難を解消するためにも三豊市の企業に就職する条件で、月5万円、10人程度、年間600万円程度を投資する給付型奨学金は実施可能ではないか。
			4、緊急に改修が必要な「永康病院」問題について	①病院の本館棟、管理棟の耐震診断を8年前の平成20年に行い、GISは「0.183」と「0.44」だ。この間、何の対策もせず「劣化」も進行した。何故ここまで放置を。 ②唐突に、現在地で平成32年に完成の全面改修案は、この間の「答申」及び「指摘」も生かさず、35億円以上の費用を投入する案だ。医師・看護師不足を解消するためにも、全市民的課題として取り組むべきではないか。
			5、年間35,000時間を超える(平成27年度実績)時間外勤務について	①管理者を除いた全正職員の年間の時間外勤務は35,166時間、その手当総額7,265万円。当局はこの常態をどのように考えているのか。 ②幼稚園(勝間、麻、大野、大見)、教育委員会(学校教育課、生涯学習課)、税務課の時間外勤務は、時期が集中しているのではないか。その改善策を聞く。